

7月 園だより

R7、6、30(月)

教育と保育を総合的に提供する宮崎市長認定こども園
アリスこどもの家幼稚園(TEL:0985-52-3367)

暑さも日々増していき、本格的な夏もすぐそこまで来ているようです。園庭で育てるスイカが大きくなり、「いつ食べるの?」と楽しみにしています。7月は、七夕、プール、夏祭り、夏の行事が盛りだくさんです。たっぷり遊んだ後はゆったりと体を休めるようにし、静と動のバランスをほどよくとっていきたいと思います。健康に夏を過ごせるよう、食事・睡眠・水分補給に十分に配慮し、規則正しい生活を心掛けましょう。



行事予定

- 1日(火)…プール開き(未満児)
- 4日(金)…交通安全教室
- 16、17日(水・木)…身体測定
- 22日(火)…避難訓練
- 23日(水)…誕生会
- 26日(土)…らっこ・こあら(いちご)参観日
- スイミング…1・15日(火)
- パレエ教室…2・9・16・23日(水)
- 体操教室…3・10・17日(木)
- サッカー教室…4・11・18日(金)



じゅうくろぎ かつきくん(1さい) うちだ とうりくん(1さい)
いどがわ たけはるくん(1さい) たなか あおいちゃん(2さい)
にしかわ ここなちゃん(2さい) かわの きよらちゃん(3さい)
はまだ さくとくん(3さい) かわごえ かほちゃん(3さい)
きしした つむぎちゃん(4さい) ひだか ゆうなちゃん(4さい)
もうり はやとくん(5さい) にしかわ えまちゃん(5さい)
きくち めいちゃん(6さい) もりぞの りこちゃん(6さい)

《お知らせ☆お願い》

- ・「暑熱順化」…乳幼児期に汗腺の数を増やしておくことが重要です。乳幼児期はしっかり汗をかくことで徐々に暑さに負けない体作りができます。熱中症に罹りにくい体作りを行い、元気に過ごしていきましょう。
- ・26日(土)はらっこ・こあら(いちご組)の参観日です。8:45までに登園して下さい。参観は9:00~10:00です。10:00~10:30で参観のまとめ(懇談会)を行い、降園になります。
- ・感染症・食中毒予防の為、手洗いうがいの徹底や爪を切る習慣をつけ、衛生面に気を付けてください。
- ・汗疹予防の為、髪型は夏用に整え、毎日シャンプーをしましょう。
- ・夏に流行する病気

☆RS ウイルス(潜伏期間は2~8日)

症状:発熱(37~38℃程度が多い)、鼻水、咳(ゼーゼー、ヒューヒューといった呼吸)などの症状が数日続く。

☆手足口病(潜伏期間は3~6日)

症状:口の中の粘膜や手の平、足の裏、手の甲などに水疱性の発疹が現れて1~3日間発熱することがある。

☆ヘルパンギーナ(潜伏期間は3~6日)

症状:38℃以上の熱が1~3日続くと同時に、のどが赤く腫れて小さな水疱がたくさんできる。



子どもの姿



らっこ	新しいお友達も仲間入りし、ますますにぎやかになったらっこ組さん。暑い日にはタライの中に水を溜めて水遊びをしたり、バシャバシャと顔にかかる水しぶきに歓声を上げて喜び、水の感触を楽しんでいます。
こあら	毎日子ども達のお喋りや笑い声で賑やかなこあら組です♪園庭や公園で、休憩や水分補給をしながら水遊びをしたり追いかけてっこをしたりと楽しく遊んでいます!
うさぎ	園庭のスイカが大きくなり「早く食べたいな」とワクワクしながら毎日観察している子ども達。水分補給や汗をかくことの大切さを話し、体調に気を付けて暑い夏ならではの遊びを楽しんでいます♪
ぱんだ	線上歩行を毎朝行い、落ち着いて1日が始まられています。戸外ではバツタやダンゴムシに夢中で、皆で観察を楽しんでいます。これから暑さが厳しくなりますが、プールやシャワーで涼しく過ごします!
きりん	挨拶をすることを大切にしていますが、園の中だけではなく、近隣の方にも「こんにちば」と挨拶をする大切さを伝えています。自分から進んで行動できる子ども達へ成長してほしいと思っています。

<らっこ組>



水遊び気持ちいいな♪
<れもんグループ>



おやつはパインケーキだよ
<きりん組>



休憩しながら遊んでるよ♪



お集まり。何が始まるのかな?



集中して見えています★



皆で食べると美味しいね♡

<いちごグループ>



お弁当いただきま〜す♡
<ぱんだ組>



皆で七夕の製作をしました♪
<うさぎ組>



正しく歩く自己コントロール力を養います



リトミックでハイハイ競争!



メリーゴーランド楽しいよ!



輪飾り上手にできましたよ!

コラム

毎年6、7月は、年長児の保護者を対象に個人面談を行っています。園の様子や家での様子を話し合ったり小学校入学に向けて心配なことを教えていただいたりします。年長さんになると、とても頼りになります。給食の当番では、机拭きやお茶つぎをしてくれます。夕方は、鉛筆とぎや花の水替えをしてくれます。また、縦割りクラスなので、年少さんのお世話もしてくれます。最年長として率先してお手伝いをしてくれる年長さん。その様子を面談でお話しするとほとんどの保護者の方が「家では見たことがありません」「園では頑張っているんですね」と言われます。お家ではホッとして素の自分を出しているのだと思います。親の愛とは、綱渡りをするときの落下防止用の網みたいなものだそうです。失敗しても大丈夫。下に網がある。幼少期に親に愛されると、そんな安心感を身につけることができます。そしてその自信をもとにして、色んな挑戦ができるのだそうです。園で子どもが頑張っているのは、お家でお子さんをしっかり愛して下さり、失敗しても大丈夫だという安心感をもっているからだと思います。子どもたちが自分から挑戦しようとする姿を大切に、これからも家庭と園と力を合わせて進んでいければと思います。(ぱんだ組 嶋田光希)